

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 4年 4月 3日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103300
法人名	有限会社 ピースアンドハーモニー
事業所名	グループホーム ローズガーデン
所在地	鹿児島市下荒田2丁目34-15 (電話) 099-213-0033
自己評価作成日	令和4年3月10日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和 4年 3月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

母体が医療機関である事で24時間医療連携体制が整っており月2回の訪問あり地域のお祭りや行事に利用者さんも一緒に参加させて頂いたり施設の行事にボランティアで来て下さったりまた施設の屋上に野菜を植えて下さり利用者さんと一緒に水を上げたり成長を楽しみに眺め大きくなったら収穫して料理にして提供。利用者の皆さん職員と一緒においしく頂いています。地域の皆さんとともに良い環境を保っています。また玄関横にはローズガーデンの名前のごときバラの花をはじめ色とりどりの花を会長自ら植えて利用者さんを楽しませて下さっています。もちろん今はコロナ過で直接地域の方々と利用者さんが会う事は有りません。毎朝の申し送りでは会長、施設長、管理者つも参加して1日の流れ、予定利用者さんの体調などの状況報告を開きケアプランに沿ったケアが出来るよう全員で理念を唱和慕います。「利用者さんの笑顔が見たい」「けがをすることなく1日楽しく笑顔で過ごす」をモットーとし職員一同報告連絡相談チームケアで頑張っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、鹿児島市下荒田地区の幹線道路から少し入った閑静な住宅街の一角のビルの2・3階に平成18年に開設されている。個人住宅に囲まれ、近くには公園やスーパーマーケット、医療機関、ガソリンスタンド、多種の商業施設が立ち並んでおり利便性は良い。少し離れた与次郎地区に法人母体の医療機関があり、ホームの協力医療機関として24時間医療連携の体制を構築して利用者の診療や急変時の対応に努めており、利用者や家族の安心や信頼に繋がっている。

地域密着型事業所として、開設以来、地域との交流を大切に取り組んでおり、町内会に加入して会合への出席やイベント及び奉仕作業への参加、ボランティア、友人知人の面会等を受け入れ、また、地域と防災協定を結ぶなど、地域の一員として円滑に交流する関係を築いているが、現在はコロナ禍に配慮して外出を伴う交流の殆んどを自粛している。総会の出席や地域の清掃活動(月2回)は継続し、地域住民から寄せられる認知症対応等の相談には専門性を生かして助言等に努めており、法人は1階に地域交流スペース「ハッピーローズ」を併設して町内会や高齢者クラブの会合等に開放している。

管理者及び職員は、ホームの理念をリビングや事務所、エレベータに掲示し、毎朝、唱和も行って周知を図り、利用者の尊厳や人格、想いを大切に、その人らしい生きがいと安らぎのある日々となるようなケアに取り組んでいる。日頃から利用者及び家族からの意見や要望の汲み取りに努め、全体会議等で検討して運営やサービスの改善を図っており、家族との信頼関係が築かれている状況がアンケートの結果からも窺える。

管理者及び職員は、気軽に意見を言い合える信頼と協力の体制を築いており、日頃の業務の中や申し送り、全体会議等で意見や要望を出し合い、全員で検討してサービスの向上に努めている。管理者は、日常的にケアに対する助言・指導やスキルアップを図る研修を実施し、勤務シフトには有給休暇の取得や健康状態、個人的な事情等にも配慮するなど、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の申し送り時に理念を唱和し提供しているサービスが理念に沿っているか確認しながら実践している。	開設当初からの理念を、目に付きやすいリビングや事務室、エレベーター等に掲示し、朝の申し送り時に唱和も行って意義を共有をしている。日頃の業務の中や毎月の全体会議等でケアの振り返りや意見交換を行って、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍の為地域との直接的な付き合いはほとんどないが屋上に季節の野菜を植えて下さり利用者と散歩の時に地域とのつながりを感じながら生活出来るように支援している。	コロナ禍により制限はあるが、町内会の総会への出席や事業（害虫駆除や火の用心の夜回り）等に取り組み、屋上の菜園作業のボランティアを受け入れ、野菜の差し入れもある。また、住民から寄せられる高齢者福祉や認知症ケアに関する相談には専門性を生かして助言に努めている。買い物、一時帰宅、体験学習、ホームの行事に家族や地域の人の参加等は自粛している。法人は1階に地域交流スペースを併設して町内会や高齢者クラブの会合時の会場に開放している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	勉強会や各種会合で認知症をテーマにした話をしていたがコロナ禍の為ほとんど無くなった。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度行っているが密を避ける為開催を見合わせている状態が続く。文章にて報告し意見をいただいている。	会議は、民生委員（2人）、町内会長、高齢者クラブ、市長寿安心支援センター等が出席して書面会議への変更（4回）も行いながら隔月毎に開催している。利用者の状況やホームの行事、ヒヤリハット、身体拘束等を議題にして意見や要望等を貰っている。職員は寄せられた内容を全体会議等で検討して運営やサービスの向上に繋げている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険など相談を行いアドバイスを受けている。	市の担当者とは電話や窓口に出向いて、介護保険の代理申請や各種制度の申請・報告、感染症予防に関する協議、生活保護受給中の利用者の処遇に関する相談等を行い、助言や指導、提案を貰うなど、協力関係を築いている。インターネットで市からの情報の把握に努め、運営やサービスの向上に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全体で身体拘束の禁止、高齢者虐待防止法等の理解の為に定期的に話し合いケアに取り入れている。また法人内に委員会を設置し研修を行っている。	身体拘束や高齢者虐待の無いケアについては運営規定や重要事項等に明記され、計画的に研修を実施して認識を共有している。毎月の全体会議や日頃のケアの中で言葉による拘束も含めて振り返りや意見交換等を行い、尊厳や個性、利用者のペースを大切にされた拘束の無いケアに努めており、適正化を図る委員会も年4回、開催している。不適切な言動には、その都度、場を変えて注意や助言して改善に努め、センサーの使用には家族の了解を得ている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会で繰り返し理解を深める為に題材にしている。特にスピーチロックに関しては職員間で回避できるよう注意している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在各制度の支援を必要とする該当者はいないが、二一ズに備えて勉強会等で話し合っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者及び家族と面談を行い疑問点等ないか確認しながら書面を利用し十分な説明と契約を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	訪問された時に意見や要望を伺い運営に反映させている。	利用者や家族には、意見・要望を言いやすいように日頃から配慮している。利用者の思いは日常の会話や表情、独自のサイン等で汲み取り、家族からは窓越しでの面会（電話も併用）や電話、LINE等で、また、「ローズガーデンだより」を毎月発行し、週1回電話で利用者の状況を伝えながら意見、要望を聞き取るように努めている。職員は出された要望等を共有し、全体会議等で協議して改善を図っている。現在、家族会は中止している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的な会議での職員の意見や提案を聞き事業運営の改善に努めている。	管理者は職員とのコミュニケーションに努め、気軽に意見を言い合える信頼関係に努めている。日頃の業務の中や申し送り、ユニット会議、全体会議時に意見や要望を出し合い、必要に応じて個人面談も行って、業務の改善やサービスの向上を図っている。ケアに対する助言・指導や研修の実施、休憩時間（1時間）の確保等に努め、勤務シフトには有給休暇の取得や職員の健康状態、個人的事情等も配慮する等、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	労働時間が守られるようにタイムカードを設置したり職場環境が良くなるように環境整備に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	コロナ過の為研修を受けられなかったがオンラインでの研修が始まる予定なので積極的に参加したい。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	オンラインでの他事業所との交流を通じてサービスの質の向上に努力していきたい。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス提供前に家族からの聞き取りサービス事業者との情報交換により本人が安心してせいかつできる環境作り支援を行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス提供前に家族からの聞き取りサービス事業者との情報交換により本人が安心して生活出来る環境作り支援をおこなっている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	課題や支援方法等を検討し本人家族と行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で食事作り洗濯掃除など出来るだけ一緒に行い同じ目線で接することに努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日頃から何でも話しやすい雰囲気づくりを心掛け利用者家族職員の信頼関係が気づけるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族との話し合いを行い情報提供し安心してサービスがりようできるように支援している。	利用者毎の馴染みの人や場については、利用者や家族、関係者からの情報で把握している。コロナ禍に配慮して、家族や友人との面会は窓越しで実施し、屋上菜園での散歩やボランティアの人と野菜の水やりや収穫を楽しんでいる。また、昔の写真で馴染みの人や場を話題にしたり、電話や手紙等を取り次ぎ、写真を添付した「ローズガーデンだより」便りの送付等、関係の継続に取り組んでいるが、外食、会食、一時帰宅等は控えている。個人用の携帯電話を所有している利用者は、日常的に家族と会話を楽しんでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し孤独感がないようにレクや家事を通じて関わりあえるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて適切な医療福祉機関を紹介します。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中でご本人の要望 思いを傾聴してその情報を職員間で共有しケアに役立てている。	利用者の思いは、日頃の会話や仕草、独自のサイン等から汲み取りに努め、家族の意向も確認しながら、安全でその人らしい生きがいや楽しみのある日々になるような支援に努めている。利用者の意向に沿って貼り絵やぬり絵、音楽・テレビの視聴、家事（食材の下処理、テーブル拭き洗濯物たたみ等）の取り組みを体調や残存機能に配慮しながら個別に支援し、それらの成果には評価や感謝の言葉を添えて、自己肯定感を得られるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族生活歴より出来るだけ馴染みのある暮らし方が出来るように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズムや出来る事を考慮し家事や作業の分配を工夫している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回カンファレンスを全職員で行いケアの内容について家族の意見や本人の要望を組入れ情報交換を行っている。	利用者や家族の意向を把握し、主治医の指示やモニタリング（3か月毎）や全体会議時の意見を基に改善点等を確認し、身体機能や習慣、楽しみ事等にも配慮した介護計画を作成している。計画は半年毎に更新しているが、心身の状態の変化時には計画を実態に沿って変更して改善に取り組んでおり、家族の理解も得ている。ケアの実施状況はバイタルチェック表や申し送りノート、介護日誌等で共有している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌や個別記録に本人の詳しい言動やそれに対して職員の対応を申し送りで活用しケアや介護計画に役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の個別性を重視しサービスの多様化に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の警察や消防署と連携している。また民生委員や町内会の方に協力して頂きボランティア活動の受け入れを行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	必要に応じて主治医より家族に疾病について説明を行っている。状態により他専門家医を紹介している。	利用者の入所前の疾病等はアセスメント等で把握しており、本人・家族が希望する医療機関での治療を継続している。主治医による定期的な訪問診療（月2回）や通院が実施され、他科受診は基本家族が同行している。歯科及び精神科も訪問診療で対応している。日頃から衛生や健康管理に努め、協力医療機関とは24時間医療連携の体制を構築し受診結果や健康状態は家族にも密に報告しており、利用者及び家族の信頼、安心に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	普段と異なる状態がある時看護師伝え適切な処置受診等を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	介護情報の提供を行い安心して治療しています。ができるように努め		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に重度化した場合や終末期のあり方について説明を行い共有の認識を持ちケアにとりくんでいる。	重度化や看取りの対応については、詳細で分かり易い指針を整備しており、利用開始時に本人や家族に説明して理解を得ている。入所後は病状に応じて随時、話し合いや意向の確認を行い、可能な限り家族の想いに沿ったケアに取り組んでいる。最近では殆どの利用者が最終段階で入院しているが、過去には1件の看取りを実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会を定期的に行いマニュアルを掲示している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の指導の下様々な想定で年に2回避難訓練を行っている。また災害時の飲食ストックについても定期的に確認している。	年2回（内1回は消防署立ち合い）夜間発生も想定した火災中心の通報、避難、消火の災害訓練を実施し、消火器や自動通報装置等の取扱いも研修している。日頃から連絡網や避難経路、消火器の設置場所等の確認を行い、常時、米25キロと3日以上の水や缶詰、レトルト食品等を備蓄し、ラジオ、懐中電灯、介護用品等も備えている。また、地域との災害時の協定も結ぶなど協力体制を築いている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライドやプライバシーを損ねる言動に注意してサービス提供を行っています。	人格の尊重やプライバシーの確保、守秘義務については運営規定等に明記され、研修の実施や業務の中で話題にして認識を共有している。利用者に対しては常に敬意と礼節を大切にしたケアに取り組んでおり、排泄や入浴時のケアは羞恥心にも配慮して適切な言葉遣いに努めている。管理者は、スピーチロックを含む不適切なケアに対しては、その都度、助言等で気付きを促し改善を図っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の状態に応じて質問の仕方や働きかけ方を工夫しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るだけ希望に添えるようにサービス提供を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身だしなみに気を付け出来ない方には支援しています。好みを理解し衣類の洗濯に役立っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや箸並べなど手伝ってもらい役割の分担を行っています。	利用者の好みや栄養バランス、季節感等に配慮し、菜園の野菜も活用しており、利用者の状態に応じて代替品や形状を変え提供している。おせちや節句、敬老会などの行事食や誕生日・クリスマスのケーキ、手作りのおやつ（ホットケーキやふかし芋等）、リクエスト食、菜園でのお茶等、食事が楽しみとなるように工夫している。利用者も食材の下処理や下膳等を楽しみながら行っている。コロナ禍に配慮して外食や家族との会食、弁当持参の外出等は控えているが、1階の「ハッピーローズ」での花見（バラや多種の草花）を手作り弁当で楽しみたいと検討中である。	

12

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量を記録し食べる量や栄養バランスを確認している。摂取量が少なく体重減少がみられる方には主治医と相談して栄養補助食品を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後は口腔ケアチェックを行い出来ない方は支援しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し失敗がないように声かけ支援を行っています。	利用者の排泄パターンをチェック表で把握し、身体の機能や習慣等も配慮しており、昼間は声掛けや誘導等で可能な限りトイレでの排泄を支援して排泄機能の維持を図っており、介護用品の軽減（オムツからリハビリパンツに変更）等の改善も見られている。便秘の予防に乳製品、植物繊維の多い食品、水分量、運動、腹部マッサージ等に配慮し、主治医にも相談しながら改善を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳ヨーグルト果物等を摂って頂いている。排便困難な方には下腹部マッサージや下剤の調整を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	気持ちよく入って頂く為に体調や精神状態によっては入浴日や時間帯を考慮している。	健康状態や意向を確認しながら基本週2回の入浴を、清拭への変更や2人介助も取り入れながら支援している。時間の変更や温度、同性介助、好みのシャンプー等は利用者の意向に沿って柔軟に対応し、個浴でゆっくり楽しんで貰っている。入浴後は保湿軟膏の塗布や水分補給を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	前日の睡眠状況を把握し休息時間を考慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の作用や副作用等理解に努めています。状態変化があれば主治医へ連絡相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の準備や片づけレクや縫物等等得意分野を生かし役割を持ってもらえるように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	まんえい防止の時は中止中止している、天気のよい時は屋上へ行ききせつを感じて頂いている。	コロナ禍でいろいろな制限があり、また、高齢化や重度化により全員での外出は困難な状況もあるが、日常的にテラスや菜園での外気浴や、通院時のミニドライブを楽しんでいる。地域のイベントの殆んどが中止され、ホームの外出計画も十分には実施できない状況が続いているため、室内での軽い体操やゲーム、風船バレー、DVD、テレビ視聴等、個別の支援も工夫してリフレッシュを図っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は職員が預かっており希望があればいつでもつかえるように管理している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	月に一度家族へお便りをだしている。ご本人の要望があればでんわをかけている。又携帯電話を持っている方居室で連絡をされる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合った花や小物を設置したり日向ぼっこが出来るスペースを作ったりと明るい雰囲気作りに努めています。音楽や照明は利用者の移行に沿って調整しています。	利用者が昼間の殆どを過ごすリビングは、開放的で明るく余裕あるスペースが確保されている。テーブルや空気清浄機、テレビ、ソファ等が利便性に配慮して設置され、利用者の作品や行事の写真、季節感のある貼り絵、雛人形等が飾られ、厨房からは調理の音や臭いも伝わり家庭的な雰囲気である。また、玄関にはバラや多種の草花がうえられ、利用者を和ませている。清掃や空調、整理整頓に努め、感染予防対策も徹底しており、不快な騒音等も無く、利用者は四季を感じながら穏やかな日々を過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間が広く十分な居場所が確保されている。ソファに座ってTVをみたり職員や利用者同士で会話を楽しまれるように工夫している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の使い慣れた物や好みの物を家族や本人と相談して持ってきてもらい近くに置いて居心地抑生活して頂ける様に配慮しています。	居室はフローリングの床に腰高窓の構造で明るく余裕ある広さが確保され、ベッド、エアコン、タンス、洗面台、吊戸棚が備えられている。利用者は長年愛用していたラジカセやテレビ、寝具、家族写真、遺影、人形等を持ち込み、自身の作品や活花、長寿祝いで頂いた品物等も飾って、家庭同様に居心地よく過ごせる雰囲気の居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に生活出来るように廊下や風呂場に手すりを設置したりトイレに目印をつけたりと環境整備に努めています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない